



弘前大学の麻酔科研修の魅力について

平井 直樹 麻酔科 医員

2017年3月 弘前大学卒

麻酔科専門研修プログラム 2019年度開始



はじめまして。後期研修2年目の平井直樹と申します。私が麻酔科に興味を持ったきっかけは、医学部5年生の臨床実習でした。刻一刻と変化する手術状況や患者さんの状態に合わせて、全身管理を行う麻酔科医の姿がとてもカッコよく、将来麻酔科になろうと決めました。鎌倉で初期研修を行い、弘前大学の麻酔科学講座を選択しました。

充実した指導体制

現在大学病院には指導医10人（1人は英国留学中）、専門医9人、専攻医16人が在籍しています。朝のカンファで担当患者さんの合併症や注意点を確認し、導入や覚醒時は必ず上級医がつき、術中も不安なことがあればすぐに相談できる体制があるので安心です。また学会や研究にも熱心で、琉球大学との国内留学も行っています。

豊富な症例と幅広いサブスペシャリティ

2年目ですが、心臓外科、小児、産科などの麻酔も経験させてもらっています。新生児から高齢者まであらゆる患者さんをみることができるのも麻酔科の魅力の1つだと思います。また麻酔科がカバーする領域は広く手術麻酔だけでなく、集中治療やペインクリニック、緩和など急性期から終末期まで幅広いサブスペシャリティがあります。

働きやすい職場環境

男性21人、女性15人（2人産休中）で若い先生やママさんドクターもたくさんいます。仕事と家庭を両立できる環境があり、キャリア形成も医局全体でサポートしていく温かい雰囲気があります。

麻酔科の仕事は目立つものではありませんが、患者さんの命を守る大事な役割を担っています。少しでも麻酔科に興味のある方は一度見学や説明会に来てください。みなさんが来てくれることを楽しみにしています。



手術中の様子



和気あいあいと頑張っています